

珍しい魚

流れ藻の住人 ハナオコゼ

2020年7月に、県内の水産関係者よりハナオコゼをいただきました。

庵治の沖合にて採捕されたようです。(写真1；全長約15cm)。

当场にて飼育していたところ、7月から9月末までに5回の産卵を確認しましたので、こちらで紹介いたします(写真2)。



写真1



写真2 (赤の線が卵)

ハナオコゼ *Histrio histrio* は、アンコウ目カエルアンコウ科ハナオコゼ属に属しています¹⁾。分布域は広く、北海道から九州南岸の日本海・東シナ海・太平洋沿岸、八丈島、小笠原諸島、瀬戸内海、屋久島、琉球列島；大連、濟州島、台湾、香港、海南島、南沙群島、インドー西太平洋の沿岸から沖合の表層で流れ藻につき生活をするようです¹⁾。ホンダワラ類そっくりに擬態し、餌の小魚を待ち構えています²⁾。全長は、15センチほどに成長しますが²⁾、寿命は約1年と言われています。産卵期は紀伊水道では5～8月とのこと²⁾。

ちなみに、オコゼと名前がついていますが、オコゼとは全く関係なく、毒はありません。

【参考資料】

- 1) 瀬能宏, 2013. カエルアンコウ亜目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索: 第2版, pp. 537, 1883. 東海大学出版会, 秦野.
- 2) 藤田・内田 1955. 1988 アンコウ目イザリウオ科. 益田一, 尼岡邦夫, 荒賀忠一, 上野輝彌, 吉野哲夫 (編), 日本産魚類大図鑑: 第2版, pp. 102, 東海大学出版会, 東京.

(文責 技師 林和希)